



鳥居薬品株式会社

第126期 中間報告書

2017年1月1日 ▶ 2017年6月30日

CONTENTS

- 株主の皆様へ…1 領域別及び製商品別の概況…3
研究開発の状況…5 トピックス…7 財務諸表の概要…8
株式の状況…9 会社の概要…10



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第126期(2017年12月期)第2四半期累計期間の経営成績につきましてご報告いたします。ご高覧頂きますようお願いいたします。

当社は今後とも「世界に通用する医薬品を通じて、お客様、株主、社会、社員に対する責任を果たすとともに、人々の健康に貢献する」という企業ミッションのもと、持続的な事業成長と中長期的な企業価値の向上の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2017年9月

代表取締役社長 **高木正一郎**

経営成績について

売上高は、2016年4月に実施された薬価改定の影響が残るなか、新製品の早期市場浸透及び主力品の市場拡大に取り組んだ結果、販売数量が伸長し300億円と前年同期に比べ10億円(3.7%)増加しました。

各重点領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

●腎・透析領域では、「リオナ錠(高リン血症治療剤)」及び「レミッチ(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」が市場拡大再算定の影響を受けたものの、「リオナ錠」は市場浸透・拡大に注力したことにより28億円と前年同期に比べ2億円(7.8%)増加し、「レミッチ」は販売数量の伸長により65億円と前年同期に比べ1億円(1.9%)の減少にとどまりました。

●皮膚疾患領域では、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン

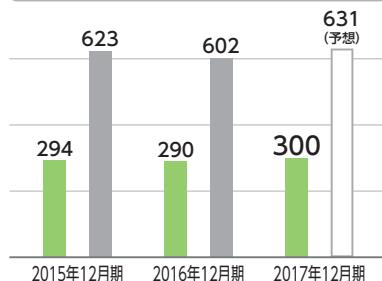
決算ハイライト

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位: 億円)

売上高

第2四半期(累計)実績

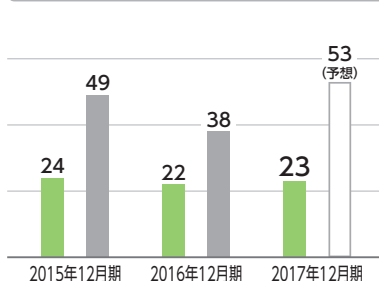
300億円 前年同期比 3.7%増



営業利益

第2四半期(累計)実績

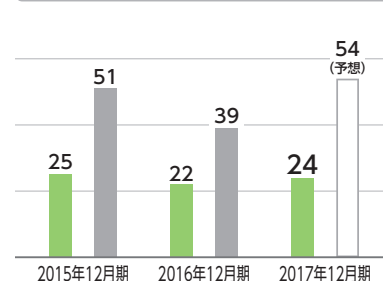
23億円 前年同期比 7.0%増



経常利益

第2四半期(累計)実績

24億円 前年同期比 5.3%増



劑)」が31億円と前年同期に比べ0.6億円(1.9%)減少しました。

●アレルギー領域では、アレルギー免疫療法の普及に注力したことにより「シグトレン スギ花粉舌下液(アレルギー免疫療法薬)」は5億円と前年同期に比べ1億円(45.0%)増加しました。

●HIV感染症領域では、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」が27億円と前年同期に比べ34億円(55.1%)減少しましたが、2017年1月から販売を開始した後継品の「デシコビ配合錠(抗HIV薬)」は35億円となりました。また、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」が0.8億円と前年同期に比べ16億円(94.8%)減少しましたが、2016年7月から販売を開始した後継品の「ゲンボイヤ配合錠(抗HIV薬)」は27億円となりました。

費用面におきましては、売上原価は販売数量が伸長したことや販売品目の構成が変化したこと等により147億円と前年同期に比べ6億円(4.4%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により129億円と前年同期に比べ3億円(2.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は23億円と前年同期に比べ1億円(7.0%)増加し、経常利益は24億円と前年同期に比べ1億円(5.3%)増加しました。四半期純利益につきましては、17億円と前年同期に比べ2億円(18.7%)増加しました。

通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、第125期報告書でご報告した予想数値を以下のとおり修正しております。

	前回予想	修正予想	対前回予想(増減率)
売上高	645億円	631億円	△14億円 (△2.2%)
営業利益	53億円	53億円	—
経常利益	54億円	54億円	—
当期純利益	39億円	39億円	—

売上高につきましては、「リオナ錠」の販売状況が計画を下回って推移していること等により、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

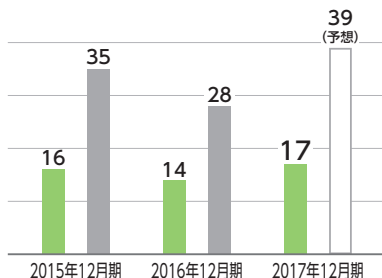
一方、利益面につきましては、売上高は減少するものの、主に経費支出内容の見直しによる販売費及び一般管理費の減少により、前回発表予想を維持する見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

四半期(当期)純利益

第2四半期(累計)実績

17億円 前年同期比 18.7%増



配当について

配当方針

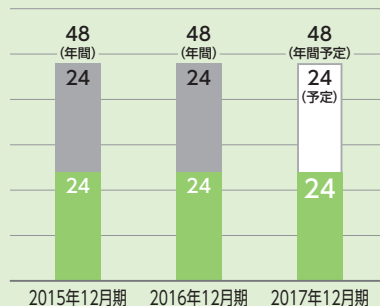
当社は、株主の皆様への適正な利潤の還元を経営の重要課題の一つと認識し、剰余金の配当につきましては、継続的かつ安定的に実施することを基本方針としております。

上記基本方針の下、経営体質の強化や将来の事業展開等を目的とした中長期的な視野に立った投資等に備えることも勘案したうえで、株主の皆様へ安定的還元を行ってまいります。

●中間配当支払開始日 9月4日

1株当たり配当金

■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)

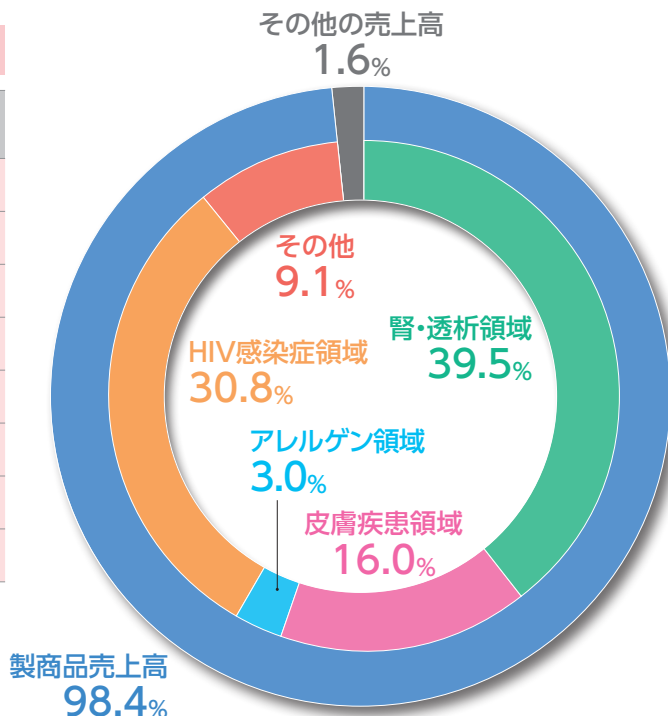


領域別及び製商品別の概況

領域別売上高

(単位: 百万円)

	2016年12月期 第2四半期(累計)	2017年12月期 第2四半期(累計)
売上高	29,013	30,090
製商品売上高	28,735	29,603
腎・透析領域	12,231	11,874
皮膚疾患領域	4,951	4,796
アレルギー領域	616	907
HIV感染症領域	8,074	9,277
その他	2,861	2,748
その他の売上高	277	486



主要製品・商品のご紹介

レミッチ

経口そう痒症改善剤



従来の止痒薬では効果が不十分であった血液透析患者の痒みや、慢性肝疾患患者の痒みを改善する薬剤です。

リオナ錠

高リン血症治療剤



体内へのリンの吸収を抑制することにより、慢性腎臓病患者(血液・腹膜透析患者、保存期腎不全患者)の高リン血症を改善する薬剤です。

アンテベート

外用副腎皮質ホルモン剤



アトピー性皮膚炎や接触皮膚炎等の皮膚疾患に対して炎症を抑えることによって症状を改善する薬剤です。

製商品別売上高

(単位：百万円)

品 名		2016年12月期 第2四半期(累計)	2017年12月期 第2四半期(累計)
レミッチ	経口そう痒症改善剤 腎・透析領域	6,696	6,567
デシコビ配合錠 ^{※3}	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	—	3,522
アンテベート ^{※1}	外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚疾患領域	3,166	3,104
リオナ錠	高リン血症治療剤 腎・透析領域	2,635	2,840
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	6,227	2,796
ゲンボイヤ配合錠 ^{※2}	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	—	2,794
ビオスリー	活性生菌製剤(整腸剤) その他	1,162	1,189
ケイキサレート ^{※1}	高カリウム血症改善剤 腎・透析領域	1,072	1,010
注射用フサン ^{※1}	蛋白分解酵素阻害剤 腎・透析領域	1,200	952
ロコイド ^{※1}	外用副腎皮質ホルモン剤 皮膚疾患領域	710	713
ゼフナート	抗真菌薬 皮膚疾患領域	583	602
シグトレン スギ花粉舌下液 ^{※1}	スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 アレルゲン領域	382	554
ユリノーム錠 ^{※1}	尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) 腎・透析領域	626	504
マグセント	切迫早産における子宮収縮抑制剤/子癇の発症抑制・治療剤 その他	525	499
スタリビルド配合錠	抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) HIV感染症領域	1,731	89
その他製商品		2,014	1,861

※1 自社品 ※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。 ※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

シグトレン スギ花粉舌下液

スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬



スギ花粉症に対する国内初の舌下投与によるアレルゲン免疫療法薬です。「アレルゲン」を少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげる治療に用いる薬剤です。

デシコビ配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素を阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤です。

ゲンボイヤ配合錠

抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬)



ヒト免疫不全ウイルス(HIV)逆転写酵素及ブインテグラーゼを阻害し、ウイルスの増殖を阻害する薬剤で、1日1回1錠の服薬で治療を行う抗HIV薬です。

研究開発の状況

導入活動・研究(共同)開発活動の主な成果につきましては、以下のとおりです。

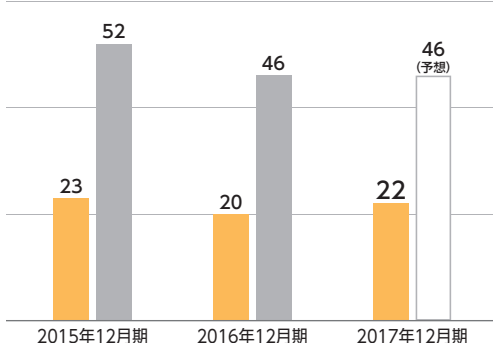
●当社が日本国内において販売中の「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルゲン免疫療法薬)」(開発番号:TO-203)につきまして、2017年3月に小児適応追加に係る承認事項一部変更承認申請を行いました。

●東レ株式会社(以下、「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチ」(提携:日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」))につきまして、カプセルに加え、東レは、2017年3月に新たな剤形として口腔内崩壊錠(OD錠)の製造販売承認を取得しました。

●2016年10月にJTと日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結したJAK阻害剤「JTE-052」の皮膚外用剤につきまして、成人患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験及び小児患者を対象とした国内第Ⅱ相臨床試験を開始しております。

研究開発費の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:億円)



主な研究開発品 (2017年7月27日現在)

開発番号 [製品名]	予定適応症等
---------------	--------

腎・透析領域

JTT-751 リオナ錠	鉄欠乏性貧血
-----------------	--------

皮膚疾患領域

JTE-052	アトピー性皮膚炎
	小児アトピー性皮膚炎

アレルゲン領域

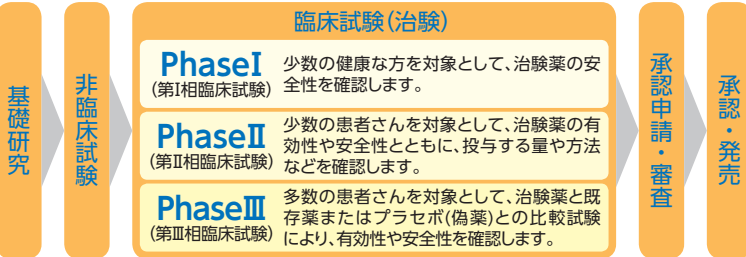
TO-203 ミティキュア ダニ舌下錠	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルゲン免疫療法薬)
TO-206	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルゲン免疫療法薬)
	スギ花粉症 (アレルゲン免疫療法薬)

上記のほか、以下の契約を締結しております。

●2016年8月 Menlo Therapeutics社が開発を進め



新薬ができるまで



新薬の候補物質が新薬として認められる確率は約3万分の1と言われており、専門家による厳格な審査を経て、国からの承認を受けてようやく医薬品として世に送り出すことができます。

剤形等	開発段階(国内)					備 考
	PhaseI	PhaseII	PhaseIII	申 請	承 認	
経口剤		PhaseII				<ul style="list-style-type: none"> ●ケリックス社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ●JTとの共同開発(適応追加) ●JTが2014年1月17日に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中
外用剤			PhaseIII			<ul style="list-style-type: none"> ●JT創製化合物 ●JTと日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
外用剤		PhaseII				<ul style="list-style-type: none"> ●JT創製化合物 ●JTと日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結
舌下錠	PhaseII/III終了※					<ul style="list-style-type: none"> ●ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ●自社開発 ※今後の開発方針について検討中
舌下錠				申 請		<ul style="list-style-type: none"> ●ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ●自社開発 ●2017年3月24日に製造販売承認申請
舌下錠				申 請		<ul style="list-style-type: none"> ●自社開発 ●2015年12月25日に製造販売承認申請

ているニューロキニン1(NK-1)受容体アンタゴニスト(国際一般名:serlopitant)の日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約(JTとの共同開発)

アレルギー免疫療法薬 TO-203(ミティキュア®ダニ舌下錠)の小児適応追加の申請

当社は、2017年3月24日にアレルギー免疫療法薬 TO-203(製品名:ミティキュア®ダニ舌下錠)について、小児適応追加に係る承認事項一部変更承認申請を行いました。

当社は2015年12月より「ミティキュア®ダニ舌下錠」を販売しておりますが、現在は12歳以上の患者さんが対象となっております。室内塵ダニは幼小児期に発症するアレルギー疾患と深く関係していることが知られており、より低

年齢からアレルギー免疫療法による治療を開始することが重要であるというご意見を多くの先生方から頂いておりました。

そのため、当社は2015年より、小児の患者さんを対象としたTO-203の第Ⅲ相臨床試験を実施してまいりました。

今回の小児適応追加により、小児アレルギー性鼻炎治療の選択肢が広がり、患者さんの治療ならびにQOL向上にいっそう貢献できることを期待しております。

「レミッチ®OD錠2.5μg(口腔内崩壊錠)の新発売

当社は、日本国内において血液透析患者、慢性肝疾患患者におけるそう痒症改善剤として販売しております「レミッチ®カプセル2.5μg(製造販売元:東レ)の新たな剤形として、口腔内崩壊錠(OD錠)である「レミッチ®OD錠2.5μg」の販売を、2017年6月13日より開始しました。

「レミッチ®OD錠2.5μg」は、水あり、水なし、どちらの服用も可能であることから、高齢者など嚥下機能が低下している患者さんや、水分摂取の制限が必要とされる患者さんの利便性が向上し、服薬コンプライアンスの向上につながることを期待されます。

今回の剤形追加により、本剤が血液透析患者さん、慢性肝疾患患者さんにおけるそう痒症治療の新たな選択肢として、治療に大きく貢献できるものと期待しております。



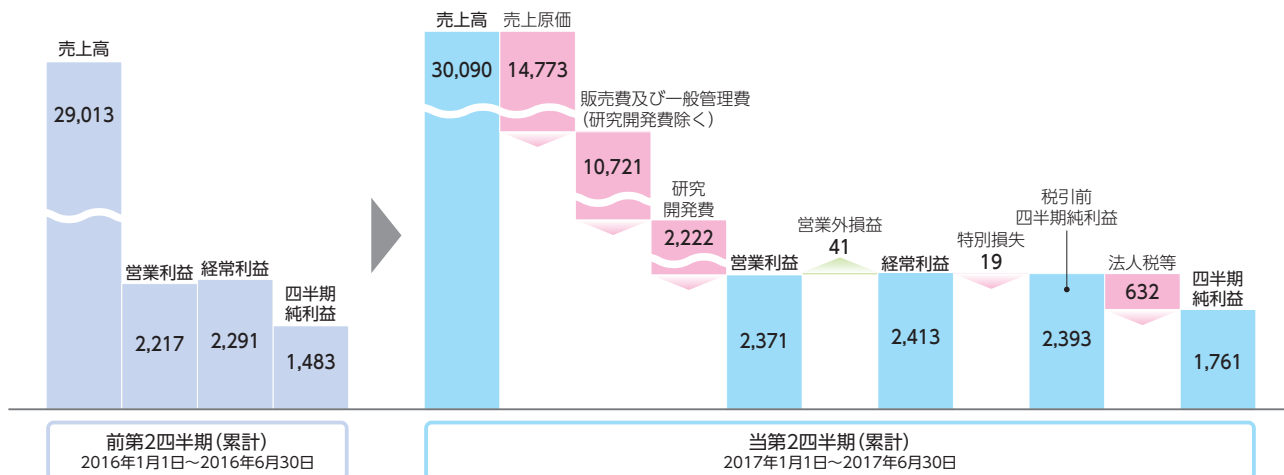
財務諸表の概要

▶▶▶ 詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

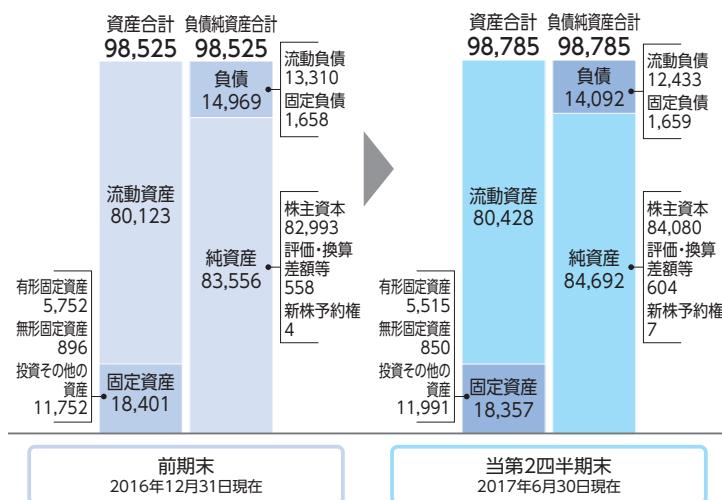
鳥居薬品 IR



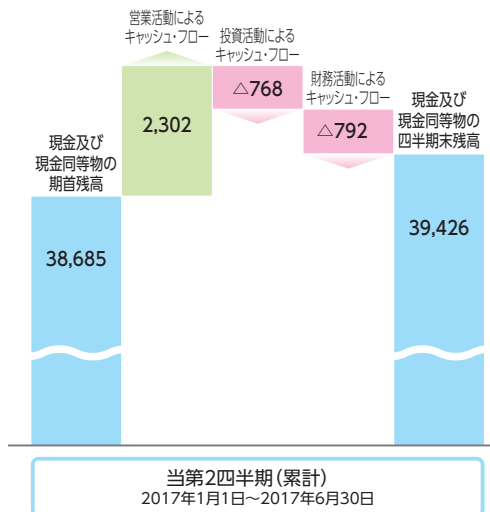
損益計算書の概要 (単位: 百万円)



貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



株式の状況

(2017年6月30日現在)

株式数

発行可能株式総数	54,000,000株
発行済株式総数	28,800,000株

株主数

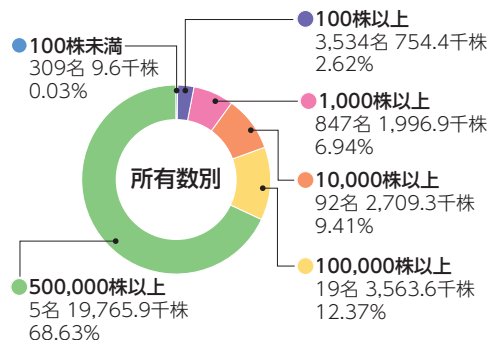
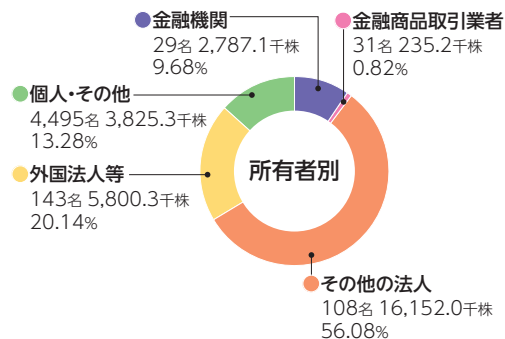
株主数 (単元未満株主を含む)	4,806名
-----------------	--------

大株主

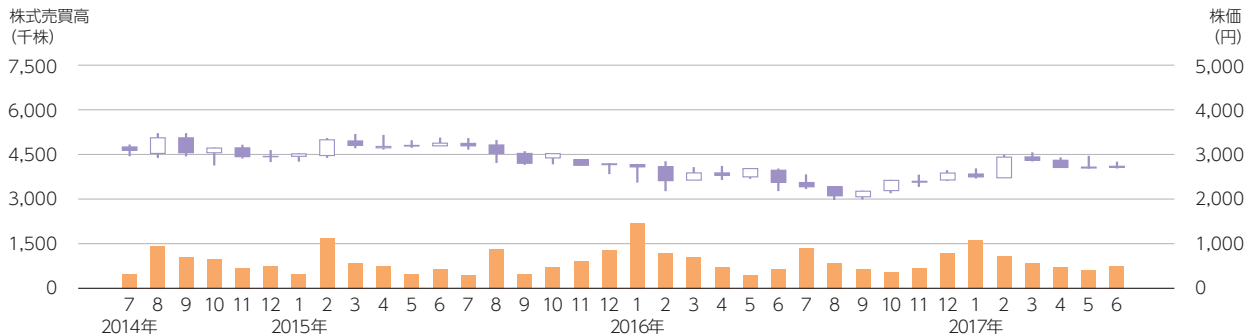
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本たばこ産業株式会社	15,398.8	53.46
イーシーエム エムエフ	2,425.8	8.42
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	635.3	2.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	554.7	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	358.3	1.24
株式会社三井住友銀行	340.8	1.18
鳥居薬品従業員持株会	311.2	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	263.9	0.91
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	209.4	0.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	196.1	0.68

(注)上記の他、当社が保有する自己株式数は751.2千株(持株比率2.60%)です。

株式分布状況



株価及び株式売買高の推移 (2014年7月～2017年6月)



会社の概要

(2017年6月30日現在)

会社概要

商号	鳥居薬品株式会社
設立	1921年(大正10年)11月1日
資本金	5,190百万円
主要な事業内容	医薬品の製造・販売
従業員数	1,086名 (注)従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数です。
本社	〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル TEL:03-3231-6811(代表)
主な事業所	札幌支店、仙台支店、北関東支店(高崎)、 南関東支店(さいたま)、東京支店、横浜支店、 名古屋支店、京都支店、大阪支店、神戸支店、 高松支店、広島支店、福岡支店、 南九州支店(熊本)、佐倉工場、 研究所(佐倉工場内)

役員

取締役・監査役

代表取締役社長	高木 正一郎	取締役	松田 剛一
常務取締役	田村 明彦	社外取締役	鳥養 雅夫
常務取締役	梅田 高弘	社外取締役	會澤 恒
取締役	假屋 ゆう子	常勤監査役	古谷 幸友
取締役	角南 正記	常勤監査役	八ツ本 泰之
取締役	掛江 敦之	社外監査役	福岡 敏夫
取締役	藤原 勝伸	社外監査役	出雲 栄一

執行役員

執行役員	野田 優	執行役員	斉藤 哲也
執行役員	森崎 信也	執行役員	渋田 昌幸

(注) 社外取締役 鳥養 雅夫及び會澤 恒、社外監査役 福岡 敏夫及び出雲 栄一は、東京証券取引所の規則に定める独立役員として同取引所に届け出ております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年12月31日 中間配当：毎年6月30日
公告方法	日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、单元未満株式の 買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページの「株主・投資家の皆さま」では、決算短信等のIR情報をご覧いただけます。

<http://www.torii.co.jp/ir/index.html>

TOPページ



鳥居薬品



IRページ



将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げる事ができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- 医薬品医療機器法その他の法令又は規制の変化
- 研究開発の遅延又は中止
- 薬価の決定、改定
- 副作用の発現
- 製商品の供給停止、回収
- 訴訟の提起



鳥居薬品株式会社

〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1 トリイ日本橋ビル
TEL 03-3231-6811 (代表)

